



## 支援プログラム

<p>法人理念</p>	<p>” みんなの日常 ” を新しくしていく</p> <p>私たちは世の中の「やりたい」を「できる」に変え、その先にあるそれぞれの目的を実現させるための全てのことを提供します。</p>
<p>支援方針</p>	<p>プロフェッショナルによるサービス提供</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 児発管をはじめ、理学療法士、公認心理師、看護師、教員免許、保育士資格、サービス管理者資格、介護福祉士、強度行動障害支援員、相談支援専門員、調理師資格など専門的知識を有した職員が在籍しており、受け入れる前に相談支援員から提示されるサービス等利用計画を参考にして、スタッフ間で対象となる児童の個別支援計画を作成するにあたり、検討会を実施して、利用される前に必ず個別支援計画を提示していきます。</li></ul> <p>保護者（学校・医療・相談・関係機関等）との連携</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 01「きゃらっと cafe」でスタッフと保護者のコミュニケーションの場を設けます。</li></ul>

保護者会とは違い、常に子どもさんに携わってるスタッフと保護者様等の個別で、お悩みやストレス軽減、個別支援計画の見直し案の提示、情報共有などをサポートしていきます。

事業所内で発達、教育、児童、障がいの分野で活躍する講師を招いてワークショップなどを開催していきます。

- 02 相談支援員など専門家による個別ミーティングを開催します。

お子様の成長に合わせ、ひとりひとりの個性を伸ばすプログラムをご用意しております。

「社会性」を育てます。

- 01 児童が放課後や休日に行きたい！と思える空間づくりを何より大切にしていきます。
- 02 プログラムは遊びの要素を取り入れ、関心をもって主体的に取り組む中で、楽しく、知らない間に多くの学び・経験を積めるように工夫していきます。
- 03 プログラム以外にも好きなことや得意なことなどに熱中することで少しずつ自信を付けていき、色々なことに主体的にチャレンジする人間性、好奇心を育む環境づくりをしています。

※ 調理実習、電車利用、バス利用、就業体験、イベント参加、社会体験、工場見学、ショッピング、イベント企画、誕生日会、食事会参加などなど

営業時間	午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分	送迎実施の有無	有り（自宅送迎ほか）
支援内容			
本人支援	健康・生活	<p>食事や排せつ、衣類の着脱（みだしなみ）など健康的な生活を送るための支援を行います。また、手洗いや消毒など感染防止に関する支援も行います。これらの支援は、本児の特性や現状に合わせ、構造化による視覚情報を提示しながら、わかりやすさを追求して自発性を伸ばしていきます。健康状態の把握は、バイタル、健康チェックシート、専門職によるリハビリテーションの実施を行っていきます。生活スキルの獲得には、昼食づくりやおやつ作りなど児童が興味を持つ体験を定期的に行い、児童が達成感（できた、やれた）を常を感じるできるようにサポートしていきます。</p>	
	運動・感覚	<p>姿勢保持や筋力の維持強化を図ります。運動や動作が困難な場合は身体移動の補助等を行い、日常生活に必要な基本的技能の向上のためのサポートを実施していきます。（集団での活動では、運動感覚を養う目的でバランスボールを使った運動、音楽ゲームを取り入れたリズム遊び、全身運動では、なわとびをはじめツイスター、跳び箱等を行います。同時に規律を守ることも学んでいきます。これらの運動・感覚も、本児の特性や現状に合わせ、構造化による視覚情報を提示しながら、わかりやすさを追求して積極性を伸ばしていきます。</p>	
	認知・行動	<p>その日の活動について、掲示や個別プログラムノートをもって、視覚的な技法を用いて、本児へ入ってくる情報を適切に処理できるように構造化を用いて支援をします。手掛かりとなる概念の形成として、数字タッチゲームやシルエットクイズなどを提供していきます。受け取った情報を整理する力を養う目的で神経衰弱や逆さ言葉・言葉並び替えゲーム、時間爆弾など遊び（楽しさ）を通じて養っていきます。また、日常生活において“時計”はとても重要なものさしであるため、飲み取り（音、光など）を通じて集団生活における時間行動、管理に関する支援も行っていきます。ABA（応用行動分析）に基づいた行動障害への予防と</p>	

	適切行 6 動への対応の支援を行います。
<b>言語・コミュニケーション</b>	言葉や文字（読み書きを用いて、自分の考えや思いを言語で表出できる（伝えられる）よう支援します。また、不適切な言葉や表現方法に対しては、人やその場に応じた適切な取り扱いができるよう、本児が理解できる方法で時間をかけて支援します。言葉のほか、指差し、身振りサインなどを用いて意思表出のための支援を行います。児童が楽しく言語・コミュニケーションスキルをアップできるように“おやつ選挙、爆弾解除ゲーム、こんなときどうする？などなど”取り組みを通じて成長を期待していきます。
<b>人間関係・社会性</b>	本児の感情が不安定になったり、他児からの働きかけを受け止められない状況の際は、本児が相談できる環境を構築し、安心して過ごせる場づくりのための支援を行います。模倣（まね）から遊び（ごっこなどの象徴遊び）へ、一人遊びから協同遊びへ移行することにより、役割やルールなど社会生活に必要な発達支援を行っていきます。さらには、地域社会との関わり体験として、買い物体験や外食体験、地域イベントの参加などを経験していきます。
<b>家族支援</b>	家族全体（本児のご両親やきょうだいなど）に対し、本児の進路や生活における困りごとなどの相談に応じます。全事業所で午前中（予約制）に CHARAT café を OPEN しています。また、児童福祉制度の利用や学校卒業後の地域生活に関する情報をプロフェッショナル同席のもと、提供させていただきます。
<b>地域支援・地域連携</b>	地域が開催する季節行事への参加を企画していきます。本児が地域において障害のない子どもとの活動をもってインクルーシブ（共生社会）教育が実現されることで、本児の特性が地域で発揮され、地域で活躍できる機会をつくります。
<b>移行支援</b>	進学や放課後児童クラブとの併行利用など、本児の生活環境の向上のための移行支援を行います。その際は、学校、放課後児童クラブ等と連携し、調整と情報交換等を行い、本児が円滑に移行できるように支援していきます。

**職員の質の  
向上**

**オープンである**

良いサービスを作るには、実際に使っている人々の声をいかに拾えるかが大事です。そのためには社内外全ての人との関係をオープンにしていく必要があると考えます。とにかく利用者(児童や保護者)や相談員や関係連携機関との距離が近く、必要に応じて変化できる柔軟性の高い組織であり続けます。

**早く、たくさんトライする**

正解というのは、やってみないとわからないものです。挑戦を恐れることが一番のリスクです。失敗を良しとする文化を標榜し、早く沢山トライすることで、ベストな選択肢を見つけ、利用者(児童や保護者)に対し、より良いサービスを提供します。

**成長に寄与する**

弊社にとって、最も大事な資産はスタッフであり、一人ひとりの成長が会社および福祉サービスの成長にとって不可欠だと考えます。提供するサービスを通じて、利用者(児童)の成長に寄与し、利用者(児童)の成長を通して、スタッフ一人ひとりが成長する組織でありたいと考えています。

**全てのことに情熱を注ぐ**

私達は、全てのスタッフが「情熱を持ってビジョンを語り」「多くの人々を巻き込みながらサービスを創り」「情熱を持って障害児福祉向上のために行動できる」そんな組織でありたいと考えています。

**メッセージ**

一人ひとりの子供のキャラが”キラッ”と輝くことを願って!きゃらっととしました。自分の夢に向かってチャレンジできる「未来を切り拓く力」を育みます。自分の夢を見つけて挑戦する力が必要な時代。児童の社会性の向上を目指す事業所です。

		家庭内や学校の様子を伺いながら、「子どもたちが自身の長所を生かしながら、自立(支援付)ができるようになること」を目指します。児童一人ひとりがドリームパスポートを手に入れて羽ばたいて欲しいときゃらっとは考えています。
行事・レクリエーション		法人イベント 季節の行事（初詣、節分、お花見、七夕、ハロウィン、クリスマス会など） クッキング、工場見学、お祭り、プール活動、芋ほり、買い物体験活動ほか 防災訓練（避難訓練、消化訓練、その他避難場所や避難経路、避難時装備の確認や地域との連携）